

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2024年 9月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2024年 9月 1日発行 通巻376号

天候の急変に注意！
時間に余裕を持って行動しよう…

9月号 目次

・ 目 次	2
・ 山行報告：神流川・金山沢右俣（茂原道標山の会）	3
・ 山行報告：北岳（市川山の会）	5
・ 山行報告：小俣川で溪流釣り（ちば山の会）	8
・ 山行報告：玉原高原下見（ハイキング委員会）	11
・ ウィークデー山行『笠間アルプス』参加者募集（ハイキング委員会）	12
・ オンライン講座開催案内（オンライン講座実行委員会）	13
・ ミニかわら版（オンライン講座実行委員会、海外委員会など）	14
・ 新聞記事：平出和也氏&中島健郎氏 K2 西壁滑落遭難のその後	15
・ 9月・10月予定表	16

個人情報があるので取り扱いには留意して下さい。

『山行報告』や**『行事報告』**などの投稿をお待ちしています！

その際の『書式』は、可能な限り次の通りでお願いします。

ワード、A4 縦、横書き、MS 明朝、12 ポイント、余白：上下左右各 25mm

写真などを挿入しても、別にお送りいただいても結構です。

『表紙用写真』も募集しています！（写真説明を添えてください）

毎月 **20 日頃**を目処にメールでお送り願います。

<送付先> 機関誌委員会：安彦秀夫 mt25hm4abichan49@gmail.com

<表紙写真説明>

「市川山の会」では、バスを利用して多くの会員が、各方面の山々を楽しんでいます。今年の夏は、電車・タクシーを利用し、山小屋2泊で、日本第2高峰の『北岳』に挑戦しました。3日間とも天候に恵まれ、思い出多い夏山山行になったようです。写真は、『北岳山頂に立ち達成感・満足感に浸る笑顔の参加者』です。詳細は『p.5-7 山行報告』で味わってください。（編集子）

『神流川・金山沢右俣』山行

茂原道標山の会 戸塚民男

日程：令和6年7月27日（土）～28日（日）1泊2日
参加者：3名 ルート：落合橋 - 両神山 - 上落合橋

<コースタイム>

① 7/27

戸塚宅 9:00⇒大宮 IC⇒<東金・京葉・外環・関越道>⇒花園 IC⇒140号⇒
15:00 赤岩岳登山口着（テント泊）

② 7/28

赤岩岳登山口 5:45⇒6:00 落合橋 6:10…6:30②10m ナメ滝…6:52 標高 1215m 分岐
…7:04 ③6m 滝…7:27④15m ナメ滝・上 7m 滝…8:35⑤120m 大ナメ…9:13 標高 1350m 分岐
…10:13 標高 1480m 分岐…10:52 梵天尾根 11:10…11:30 両神山 13:40…
12:43 東岳 12:56…15:33 西岳 15:38…17:15 八丁峠 17:20…18:45 上落合橋・落合橋
18:55 出発⇒<往路を帰る> 途中、花園の徳樹庵で食事⇒戸塚宅 24:05 着

<山行記録>

落合橋の駐車場から河原に降りて下流に向かい、落合橋の下をくぐり右俣に入った。

① 2段 6m 滝は、膝下まで水に入り簡単に通過。

② 10m ナメ滝は左を登る。標高 1215m の右沢・左沢分岐を佐藤さんのスマホで高度確認して、右沢に入った。入山者は無く、踏み跡も少ない。

③ 6m 滝は左から取りつき中間で右に移る。

④ 15m ナメ滝上の 7m 滝は左を試みるが難しい。繁田さんが中間部をトラバースして右に移る。私と佐藤さんは断念して戻り右から高巻く。繁田さんも直登は断念してそのまま高巻きした。

⑤ 120m 大ナメ、傾斜は少ないが枯葉があって思うようには歩けない。



15m ナメ滝

人気があった沢だったが、近年入山者は少ない様子だ。標高 1350m、4:1 の分岐も佐藤さんのスマホで高度確認して左の沢を選択した。高度を上げていくと伏流水となり、最後の分岐に向う。

標高 1480m、梵天尾根と梵天尾根大笹から槍ヶ岳へ至る山稜のコースの分岐も、高度を確認して梵天尾根を目指した。急登を木立につかまりながら詰め、コルに出て一安心した。



両神山山頂

両神山頂には、中国人の女性 2 人等 5~6 人が眺望を楽しんでいました。両神山荘からの入山で八丁峠コースは少ない様だ。東岳にも若者が一人昼寝をしていましたが、両神山荘から入山で、「最近八丁峠コースで転落死亡事故が発生し、家族から気をつけるよう言われた。」とのこと。

木漏れ日の沢と異なり、岩場の尾根道では太陽に照らされ、水の確保も少なく体に応え木陰で一時間程休憩。直前に女性、休息中に男性が登って行ったが、両神山荘に下山したのと思われました。

鎖は下がるが、急峻な岩場の連続した難所を通り抜けて八丁峠に到着したときはホッとしました。

上落合橋に下り落合橋駐車場に着いたときには、うす暗くなり始めていました。暗くならない内に山道を抜けようと、水分補給だけして急いで出発しました。

途中、花園インター手前の徳樹園で美味しく夜食をいただき、零時過ぎ帰宅しました。

<反省と教訓>

1. 水は、2L 持参する必要がある。
2. 余裕を持った、山行計画の立案は重要。

< 短信 8 月 > ▲ 茂原道標

8/3 日光白根山 (個) 4 名
8/4 高尾山 (個) 1 名
8/4-5 白山 (会) 4 名
8/6 例会 16/19
8/24-25 南八ヶ岳 (会) 7 名 (予定)
独り言…笠間アルプス、テント泊!



金山沢・15m ナメ滝

南アルプス『北岳』山行記

市川山の会 宮良 泰

＜第1日目＞ 8月6日(火)

いよいよ北岳山行である。子どものように指折り数えて待った。8月6日(火)午前6時30分にJR錦糸町駅に集合した皆の気持ちも同様であろう。標高3,193mの北岳はここにいる全員にとってチャレンジの山であることは間違いない。今日に至るまでそれぞれが心身の準備をしてきたようだ。ある参加者は装備を見直し、ある参加者は足腰を鍛えてここに集まっている。特急「あずさ3号」は多少遅れたが、標高275mの甲府駅に9時過ぎに到着。ジャンボタクシー2台に分乗し、一気に標高1,520mの広河原へ駆け上がった。

ビジターセンターで昼食を摂り、準備と体操を済ませて12時前に出発。北岳山頂は霧の中で見えない。2班に分かれて歩き始めると、ペースを落とすようにサブリーダーから指示が飛ぶ。北岳であることを忘れてはならない。山頂に立つにはペース配分は重要な要素である。声かけに感謝しながら、緊張感を失わないよう自戒する。

野呂川にかかる長さ50mほどのつり橋(広河原橋)を渡る。高所が苦手な人でも問題なく渡れる。渡り終わると、いよいよ白根御池小屋標高2,200mまでの標高差約720mのシラビソ・コメツガなどの針葉樹林帯の中の登山道が始まる。大樺沢コースは数年前の台風被害のため通行止めになっている。日本第2の高峰だけあり端から急登である。20分～30分ごとに休憩をとりながら徐々に高度をかせぐ。所々に南アルプスらしい木造の梯子が現れ気持ちが昂る。北岳は花の百名山でもある。ミヤマアキノキリンソウ、カニコウモリ、タカネヤハズハハコが登山道を彩っている。

2時間ほどで長かった急登は終わり、斜面をトラバース気味に歩く。雲は多めで時折ガスも出るが、雨は降らず日射しが注ぐこともある。15時20分に白根御池小屋に着く。目の前には空き缶が並んでいる。早速、談話室で喉を潤す。南アルプス市営の白根御池小屋は、清潔でとても過ごしやすかった。

＜第2日目＞ 8月7日(水)

起床は4時。朝食を摂り外に出ると天気は晴れ。北岳バットレスが森林の上に黒く重厚な姿をのぞかせる。標高差約800mの北岳肩の小屋を目指し、午前5時30分から歩き始める。2日目の行程は、大樺沢二股までの40分ほどの水平歩行の後、稜線上の小太郎尾根分岐標高2,850mに向け、急登の右俣コースを約3時間かけて登る。今回の山行で最も体力を要する場所で、覚悟して登り始める。

二股までのコースは苔むした針葉樹林の中の道で北八ヶ岳を思わせる。二股から望む大樺沢の雪渓は大変小さくなっていた。

幸いなことに、雲が少しずつ湧き夏の厳しい日差しを和らげてくれる。しかし予想以上に体力を奪われる。20分毎に休憩を取りながら徐々に高度を上げる。登山道は急斜面を左右に折れながらダケカンバの中を縫うように続く。マルバダケブキが群生

し黄色い花が斜面を彩っている。高度を増す毎に呼吸も苦しくなる。辛い事ばかりでは無く、高山ならではの花々が登山道を彩る。センジュガンピ、コウメバチソウ、キタダケトリカブト、イブキトラノオ、ハクサンフウロなどが疲れを癒してくれる。

午前9時、草すべりコースとの分岐に到達。予想より早いペースである。森林限界が近づき木々の背丈が低くなりハイマツが現れる。足元にはホシガラスの食べ残したハイマツの松毬が転がっている。シラネヒゴタイ、ハハコヨモギ、タカネヤハズハハコ、イワオウギなどの控えめな花が目立ってくる。

遂に2, 850mの稜線にたどり着く。ガスに包まれているが、稜線歩きは何物にも代えがたい喜びである。斜面には小さなコゴメグサが群生し、トウヤクリンドウがあちこちに咲いている。ロープが下がる岩稜を慎重に越える。

予定より早く午前11時前に標高3,000mの北岳肩の小屋に着いた。小屋の周辺には、ミネウスキソウ、イブキトラノオ、テガタチドリ等が見られる。

翌日の天気や下山のことを考えて、昼食後リュックを小屋に預けて北岳山頂へのアタックを開始する。急登の岩稜帯をゆっくり登る。急な動きは息が上がり高山を意識させられる。時折、雲の切れ間から青空がのぞく。あたりには背の高い草木は無く、岩陰に咲くミヤマオダマキ、シコタンソウ、イワギキョウが力強く命をつないでいる。

30分で両俣小屋分岐に着くと傾斜は緩やかになる。岩のピークの前でオコジョに遭遇。ひと時の撮影会となる。そこを越えると手の届きそうな所に平たい山頂が確認できる。いよいよクライマックスだ。息苦しさはもう感じない。

一息で北岳山頂3,193mに到着。まわりは霧で展望は得られない。山頂の標識と看板と三角点が広い山頂に散らばり、どの辺が山頂か一瞬戸惑うが、登頂の喜びを静かに噛み締める。高山蝶が舞い祝福してくれている？



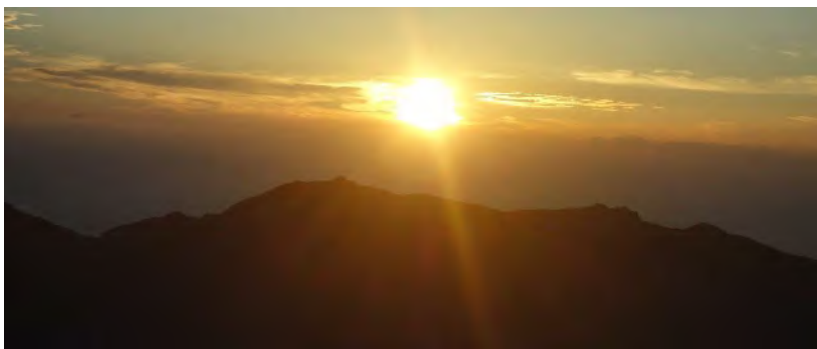
記念撮影をしていると、タカネマンテマの話で盛り上がる。「小屋までの下りにマンテマがある」との情報を得たので、注意深く降りていると、岩陰に一群の小さなタカネマンテマを見つける。さしずめ北岳のアイドルと言ったところか。特別な存在の様である。

夕食を済ませ、交流会で盛り上がった後、小屋の外に出て空を見上げると雲の切れ間から夏の大三角、北岳の上にはさそり座、中央アルプスの上には細い三日月が見えた。

あまり寒くない。

<第3日目> 8月8日(木)

朝から晴天に恵まれる。ご来光とともに富士山、鳳凰三山、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳が雲海に浮かぶ。遠くには中央アルプスや御嶽山が確認できる。富士山はその頭上に雲を頂き、8合目からは薄い



ベールに包まれて裾野辺りまでが透けて見える幻想的な姿。バットレスが突き上げる北岳がモルゲンロートに染まり始めた。美しく感動的な景色だ。



午前5時30分、荷物をまとめ、気を引き締めて下山を始める。標高差は1,500m。草木も滑り落ちそうな草すべりコースを下る。こちらのコースも高山植物に恵まれる。ミヤマキンポウゲ、チングルマの綿毛、タカネナデシコなどに囲まれて白根御池小屋まで高度を一気に下げていく。途中で鹿の食害から高山植物を守る保護柵が設置されていた。地球温暖化の影響か日本全国で増え続けるニホンジカ、共生の道はあるのか。

白根御池小屋で早めの弁当を食べていると、次々と登りのパーティーがやってくる。高校生・大学生の山岳部や若者のグループが多い。改めて人気のある北岳にいることを意識する。

広河原まで下って大樺沢を見上げると、うっすらと北岳の稜線が望まれた。芦安温泉で3日間の汗を流し、疲れを取り帰路に就いた。

今回の北岳山行は、3日間とも天気にも恵まれ、憧れの北岳に登頂し、山々の展望を楽しみ、美しい高山植物に癒され、珍しいオコジョにも遭遇した大満足の思い出深い山行になった。



御嶽山麓:王滝川支流の鹹川(うぐいがわ)～小俣川で溪流釣り

【ちば山の会 永尾美佳子】

<日程> 7月27日(土)～28日(日) [1泊2日]

<参加者> 5名

<コースタイム>

1日目 3:00 稲毛海岸駅付近集合出発～8:16 氷ヶ瀬ゲート前スタート～林道～9:19 鹹川入渓～溪流釣り～13:01 林道へ～15:00 幕営地着テント設営～溪流釣り～宴会・就寝

2日目 7:57 幕営地スタート～鹹川下降～11:04 小俣川出合～遡行・釣り～12:00 頃 淵・遊泳・折り返し～小俣川下降・脱渓～12:54 林道～13:30 氷ヶ瀬ゲート前到着

距離 19.9km / 高低差 425m

時間 5時間44分(1日目)+5時間35分(2日目)=11時間19分(計)



日帰り温泉 せせらぎの四季(とき) <https://kiso-spa.com/spa/>
大人¥700 / 入浴時間 10:00～21:00 / 鉄分が多く赤褐色の湯。

<山行記録>

1日目、現地近くのコンビニで遊漁券¥2,000 をゲットしてから現地入り。到着する頃には夏空が広がり気持ちのいい晴れ。氷ヶ瀬ゲート前に駐車し装備を整えスタート。橋を渡り1時間ほど林道を歩き、いよいよ入渓です。

30分ほど遡行したあたりで、竿を振りました。いきなりS氏がアマゴをゲット! 美しい溪相に見惚れつつ、竿を振りながらさらに上流へと遡行します。

▼林道歩き



▼鹹川へ入渓



▼ブドウ虫にビビるU氏



▼美しい溪相



▼熱心に竿振りを教わる



▼木陰でひとやすみ



ほどなくして林道へ復帰。幕営地を探しながら上流に進みます。このあたりには昔、「木曾森林鉄道鹹川線」といって、伐採した木を運搬するための作業線が敷かれていたようです。廃止されたのは昭和 52 年頃だそう。林道のところどころに作業線の名残が見受けられました。

津島軽便堂写真館 HP <http://tsushima-keibendo.a.la9.jp/kiso/kiso-map.html>

助六木曾森林鉄道うぐい川線(書籍) <https://shosen.tokyo/?pid=173776986>

▼作業線の跡



▼作業道として歩かれていた道でしょうか



テントとタープを設営し終えた頃から雷雨。小一時間ほどでやんだので溪流釣り夕方の部スタート。しかし竿は振るわず…。結局この日の釣果は5人で1匹でした。明日に期待をかけて夜の部の宴会スタート！直火であぶった夏の食材とお酒を堪能し、幕営地にて楽しい夜が更けてゆきます。

▼雷雨を避けタープの下へ



▼雨が上がり釣り再開



▼竿振り



▼乾杯〜♪



▼唯一の釣果アマゴ



▼くつろぐマーメイド(笑)



▼トウモロコシ・枝豆・ウインナー 等々。美味しく楽しい沢泊、夏の思い出♪



翌朝、腹ごしらえの後、鮭川を下降。この日は小俣川での釣果を狙います。出合いから小俣川を遡行しますが魚影は確認できず。それにしても美しい溪相にため息がもれます。結局2日目も釣果は得られないまま小俣川の淵に到着。エメラルドグリーン美しい淵に次々飛び込むメンバーたち。泳ぎの上手なカップもいました(自称マーメイド)。釣果はさておきお天気に恵まれ美しい沢歩きを堪能できました。皆さん、お疲れ様でした。シーズン中にまた行きましょう！

▼2日目スタート



▼魚影をもとめて



▼淵で遊泳するカップ1名(笑)



▼休憩



▼泳いで戻ります



▼見事な夏空！



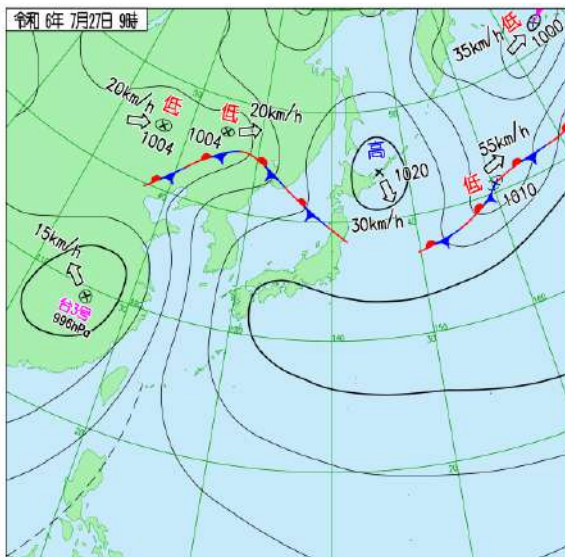
▼温泉でさっぱり



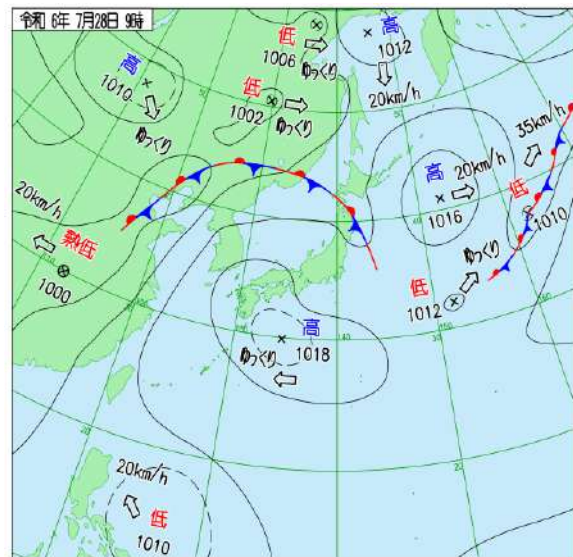
▼帰路にむけて腹ごしらえ



▼7/27(1日目)晴れて暑い。15時ごろ夕立。



▼7/28(2日目)文句なしの晴れ。



ハイキング委員会

「玉原湿原～鹿俣山～尼ヶ禿山」の下見に行きました！

ハイキング委員会(東葛山の会) 羽鳥健一郎

日時：8月18日(日)～19日(月) 1泊2日

宿泊：玉原高原ペンション村「つつみ・すくえあ」

参加者：田中委員長(ふわくハイキングサークル)、
海瀬(千葉こまくさハイキングクラブ)、
大橋(かがりび山の会)、羽鳥(東葛山の会)
以上4名(敬称略)

交通：田中委員長の車で往復

行程：



<第1日目(18日)> 歩行時間：約6時間(休憩含む)

5:45 集合 JR 船橋駅北口 天沼公園側 出発 6:00—船橋 IC—高坂 SA—
沼田 IC—9:00 玉原高原(宿)—センターハウス 9:50…湿原入口…湿原一周…
12:05 長沢三角点 1,302m 昼食…12:30 分岐…13:55 鹿俣山(1,636m) 往復…
15:15 分岐…15:45 センターハウス—16:00 宿

<第2日目(19日)> 歩行時間：約3時間20分(休憩含む)

朝食後出発—センターハウス 8:45…湿原入口…東大セミナーハウス…
登山口 9:15…9:55 第5鉄塔…10:20 尼ヶ禿山(1,466m) 10:30…迦葉山分岐…
11:25 サイクリングロード…11:40 分岐…12:05 センターハウス(昼食) 13:00—
13:30 望郷の湯 14:30—沼田 IC—(トイレ休憩)—船橋 IC—19:00 天沼公園側 解散



ハイキング委員会では、かつてウィークデー山行で玉原高原に日帰り計画した時期がありました。来年の計画の一環もあり、玉原高原の下見に行ってきました。

一泊二日で鹿俣山、尼ヶ禿山、玉原湿原を廻りました。田中委員長の車(定員4人)で往復しました。皆さんの都合もあり暑い時期になりましたが、新緑や紅葉の頃はさらに快適と思います。

今回は一泊でしたので、ゆっくりと日帰り湯にも入り 19:00 船橋着となりました。日帰りの場合はバスの運転手は2名体制となり千葉県内に着くのは大幅に遅くなることが検討課題と思います。



第23回ウイークデー山行 リベンジ『笠間アルプスを歩く』参加者募集

『健脚：縦走コース』と『ゆっくり：折返しコース』を作りました！

締切日を過ぎましたが、未だ申し込まれていない方は、
至急、問い合わせ・申込み先まで連絡をお願いします。

山行日 **9月24日（火）** 現地集合・現地解散（日帰り）

コース 茨城県「笠間アルプス 縦走」 常磐線 岩間駅 → 水戸線 福原駅

歩行形態 各会で行動

交通 電車利用 料金：1808円（千葉～岩間）

（岩間タクシー Tel:0299-45-2103 岩間～愛宕山駐車場：1500～1600円）

推奨電車時刻（電車時刻は、参加者各自で確認をお願いします）

（往）JR 千葉駅 6:21 発→船橋駅 6:36 乗換東武アーバンパークライン 6:47（急行）

→柏 7:11 乗換 JR 常磐線 7:22→快速 途中前5両切り離し→**岩間駅 8:26**

（復）水戸線福原駅発 15:55 16:24 17:17 17:54→友部駅常磐線乗換

（復）常磐線岩間駅発 14:58 15:22 15:51 16:25

岩間駅前 8:30 集合

<健脚：縦走コース> 歩行:約7時間30分（休憩含む）

JR 岩間駅 8:45 出発⇒愛宕山駐車場 9:45/55⇒**南山展望台** 10:30/45⇒団子石 11:30/40

⇒難台山 12:30/45⇒道祖神峠 13:45⇒吾国山 14:30⇒吾国山登山道入口 15:30

⇒JR 水戸線福原駅（無人駅）16:00 着・解散

リーダー：田中

<ゆっくり：折返しコース> 歩行:約5時間30分（休憩含む）

JR 岩間駅 8:45 出発⇒愛宕山駐車場 9:45/55⇒**南山展望台** 10:30（昼食）**合同写真撮影**

南山展望台 11:00⇒愛宕山駐車場 12:30/12:40⇒愛宕山 13:20/13:30⇒14:30 JR 岩間駅

天候や電車遅延などによりコース変更がありえます。携帯で連絡しましょう！

問合せ・申込み先：**ハイキング委員会 田中康男**

Eメール：dzbo5434@nifty.com TEL:090-8331-6858

☞ 参加申し込み：各会で纏めて申込んでください。

申込締切：2024年8月31日（土）

締切日は過ぎていますが、
今すぐ連絡を！

雨天中止決定日：9月20日（金）19:00

中止の場合、各会のハイキング委員や参加申込み代表者にメール配信します。
駅のトイレが少ない！（可能なら電車内で）

2024 オンライン講座開催案内

第2回

「登山能力の改善を目的とした8ヶ月間の筋力トレーニングの取り組みとその成果」実施報告

講師：大杖哲司 氏(兵庫県勤労者山岳連盟 理事長)

日時：9月27日(金) 19:30～21:00

兵庫労山では、2022年9月～2023年4月の期間、男性21名(62～77歳)、女性33名(59～77歳)が参加して筋トレの取り組みを行い、大きな成果が得られていますので、概要を報告していただきます。

問合せ・申込先：オンライン講座実行委員会 伊東春正

itou2385@yahoo.co.jp 090-1774-3384

申込期限：9月19日(木)

☞ 2024 ちばニュース9月号」と同時に、各会代表者、理事、役員に『参加申込書』を配信します。必要事項を記入し、参加者が、直接、上記申込先にメールにて申込みをお願いします。Zoom 未経験者には事前練習をしますので、参加申込書にその旨を書き、早めに申込みをしてください。

受講料無料

<今後の予定>

第1回：「全国自然保護講座 in 房総」実施報告

日時：8月29日(木) 19:00～21:00

講師：菅井修 氏 (千葉県勤労者山岳連盟自然保護委員会委員長)

済

第3回：安全・快適・健康的な生涯登山を実現するための3つのポイント

～山での上手な歩き方と普段からのトレーニングへ

日時：10月24日(木) 19:00～21:00

講師：山本正嘉 氏 (日本勤労者山岳連盟顧問)

- ・7月6-7日に開催された『全国遭難対策担当者会議』で記念講演がありました。それと同じ内容で講演をしていただく予定です。

第4回：海外登山と撮影 ～未知のルートからグレートヒマラヤトレイルまで～

日時：11月28日(木) 19:00～21:00

講師：中島健郎 氏 (クライマー&山岳カメラマン)

※7月27日(土) 世界第2高峰K2西壁未踏ルート登攀中に滑落遭難しました。

中止

<ミニかわら版>

1) 第1回オンライン講座無事終了

8月29日(木)午後7時~8時40分に、参加者17名(7会)で、今年度最初のオンライン講座が開催されました。

講師の菅井修・自然保護委員会委員長(ちば山の会)より、6月15日(土)~16日(日)に南房総市岩井で開催された『全国自然保護講座』での『記念講演』と『千葉県連報告』などについて説明があり、その後、質疑応答がありました。

「資料」と「質疑応答」について纏め、千葉県連HPに掲載予定です。

2) 第4回オンライン講座中止

講師にお願いしていました『中島健郎』さんが、7月27日(土)に遠征先の『K2西壁未踏ルート』挑戦中に、7,500m付近から滑落遭難しました。必死の救助活動を試みましたが、残念ながら遭難場所の状況や2人の動きがないことから、家族の同意を得て、救助は打ち切られました。

新たに講師をお願いする時間もなく、第4回講座を中止します。

(滑落遭難関連詳細は、p.15 新聞記事参照)

3) 韓国ハイキング説明会開催『9月17日(火)19:00-21:00 鎌ヶ谷市中央公民館』にて

8月18日(日)で参加申込みを締め切りました。

参加申込者は、17名(4会:男性5名・女性12名)で、既に飛行機やホテルなどの手配は済み、申込金(内金)を各参加者から旅行会社に振り込み済みです。

参加者を対象とした説明会を9月17日(火)午後7時から9時に、鎌ヶ谷市中央公民館で、旅行会社の社長(担当者)に出席いただき開催します。

既に締め切りましたが、「ハイキングに是非参加したい…」という方は、至急、海外委員会:安彦まで連絡をお願いします。旅行会社に相談してみますので…。

4) ウィークデー山行『笠間アルプス』参加申込まだ間に合う…!?

締切日は過ぎましたが、今すぐハイキング委員会:田中委員長まで連絡をすれば参加できるかも…。急いで問合せをしてみてください。

平出和也氏 & 中島健郎氏

『世界第2高峰：K2 西壁未踏ルート滑落遭難』のその後

2人のこれまでの偉業を讃え、ご冥福をお祈りします。多くの夢と希望として勇気を私達に与えていただきまして感謝しかありません。これまで以上に二人の絆を深め、未知の世界に挑み続けてください。多謝！

7500mに到達 偵察中滑落か

K2遭難の平出さん・中島さん

山岳カメラマンの平出和也さん(45)と中島健郎さん(39)がパキスタン・カラコルム山脈のK2(標高8611m)の未踏ルートで滑落し、救助打ち切りとなった7月末の遭難、事故に至る前の足取りが通信記録などからわかった。「世界最強」と評された登山家の2人。関係者は、想定外のアクシデントが起きた可能性があるとみる。

(吉沢龍彦 黒田早織 金子元希)

挑んだのは世界第2位の猪熊隆之さんと衛星通信機で連絡を取り合っていた。猪熊さんは日本からは持たず、装備を減らし、現地の人で登る「アルパインスタイル」だった。その記録などによると、6月17日にふもとをロープで互いを確保しながら登ることが多い。2人は山岳気象予報士

それから約1カ月は雪を含む悪天に見舞われていた。すると、7月下旬に好天の周期が訪れる予報となった。そこでアタックを決断。24日にBCを出て、前進キャンプに至った。25日に標高約6500m、26日に約7500mに到達。猪熊さんの

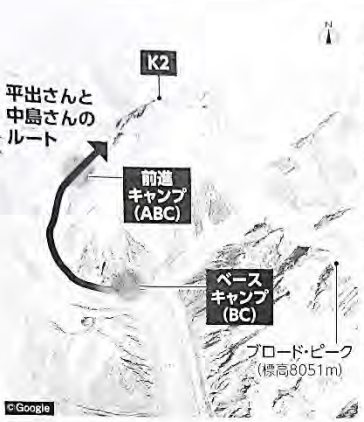
現地からの最後のメッセージは「天気は申し分ない。あとは我々の調子とルート次第ですね」。猪熊さんは「体調にも問題はなかったことがうかがえた」と話す。

2人へ登った経験がある山岳ガイドの倉岡裕之さん(63)は今年、エベレストで温暖化の影響を感じたという。2人は雪がある場所を狙ってルートを選んだことから、「雪が崩れた可能性もある」との見方を示す。

石井スポーツは滑落した地点にはヘリコプターで下降できず、地上から向かうのも困難として、救助活動を打ち切ったことを明らかにしている。

「最後まで挑戦者」

山岳ライターの大石明弘さん(44)は平出さんとは大学時代からの仲間。一緒にヒマラヤにも登った。平出さんは「前へ前へ」と世界で挑戦を続ける。登山界のアカデミー賞と言われる「ピオレール」を日本人として最多の3回受けている。中島さんは15年来の知り合い。穏やかで優しいのに力強い登山をする愛されキャラだった。2人の強みは、知られ



平出さんと中島さんの行動
2人と猪熊隆之さんとの通信記録や石井スポーツの発表などをとりに作成

7月23日	ベースキャンプ(BC)で29日に登頂をめざすスケジュールを決める 予報ありがとうございます。29日は出来るだけ安全地帯まで下山了解です
24日	BCから前進キャンプ(ABC)へ 昨夜は曇り時々雨。今朝BC-2℃。出発時にわか雨でしたが、行動中は降られる事なく、11時からミソレが降っています
25日	ABCから標高約6500mのキャンプ1(C1)へ 下部は曇っていますが、6500mC1は曇りです。上空も穏やかです
26日	C1から標高約7500mのキャンプ2(C2)へ 昨夜は星空。今朝C1 6500m-12℃。日中は風もなく穏やかに晴れていました。無事C2 7500mに入りました 天気は申し分ないですね。あとは我々の調子とルート次第ですね! 有難う御座います!
27日	C2から上部へ「偵察」に行き、滑落か

K2遭難 2人死亡と見解

所属会社 最終報告 追悼示す

登山家で山岳カメラマンの平出和也さん(45)と中島健郎さん(39)がパキスタン・カラコルム山脈のK2(標高8611m)で滑落した遭難で、2人が所属する石井スポーツは22日、事故に関する「最終の報告」をホームページに掲載した。「追悼」を示すコメントを発表し、2人は亡くなったとの見解を示した。同社によると、K2西壁の未踏ルートに登っていた2人は7月27日、標高7500m地点からさらに上部への偵察に出

かけた。同日午前7時、「氷とともに滑落した様子を撮影スタッフが目視で確認した」という。日本の留守本部には「1千m以上滑落。ABC(前進キャンプ)より見えるが動かない」という連絡が入った。K2にいた別の登山隊の隊長がヘリコプターに乗って上空から状況を確認し、「2人はロープでつながって、約6800mにいます。生死は確認できない」と報告した。現場にヘリは着陸できず、地上からも近づけない状況だった。このため7月30日に救助を断念。2人は斜面に雪がついて「雪田」を抜け、岩壁が露出している「第2バンド」のすぐ下から滑落したという。(吉沢龍彦)



平出和也さん(左)と中島健郎さん(右)19年アルゼンチン

朝日新聞
2024年(令和6年)
8月22日(木)

朝日新聞
2024年(令和6年)
8月23日(金)

県連活動予定表

9月			10月		
日付	曜日	県連活動予定	日付	曜日	県連活動予定
1	日		1	火	
2	月		2	水	
3	火	ハイキング委員会 (Zoom)	3	木	
4	水		4	金	
5	木		5	土	
6	金		6	日	
7	土	白露	7	月	
8	日		8	火	全国海外委員会 (ZOOM) 19:30 寒露
9	月		9	水	
10	火	全国海外委員会 (ZOOM) 19:30	10	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00
11	水		11	金	
12	木	役員会 (ZOOM) 19:00-21:00	12	土	
13	金		13	日	
14	土		14	月	スポーツの日
15	日		15	火	
16	月	敬老の日	16	水	
17	火	韓国：紅葉ハイキング説明会	17	木	理事会 (Zoom) 19:00-21:00
18	水		18	金	韓国紅葉ハイキング①
19	木	理事会 (Zoom) 19:00-21:00	19	土	韓国紅葉ハイキング② (北漢山)
20	金		20	日	韓国紅葉ハイキング③ (冠岳山)
21	土		21	月	韓国紅葉ハイキング④
22	日	秋分の日	22	火	
23	月	教育遭難対策委員会 (ZOOM) 振替休日	23	水	霜降
24	火	ウィークデー山行「笠間アルプス」	24	木	オンライン講演会② 19:00-21:00
25	水		25	金	
26	木	機関紙委員会 (ZOOM)	26	土	
27	金	オンライン講演会② 19:30-21:00	27	日	
28	土		28	月	教育遭難対策委員会 (ZOOM)
29	日		29	火	
30	月		30	水	
31	火		31	木	

事故発生時の連絡先

各委員会は、25日までに予定を連絡ください。

◎事故一報は事故発生後1ヶ月以内に！

◎全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難対策委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp (伊東)

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

(ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509)

千葉県勤労者山岳連盟

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： <https://www.cwaf.jp>

事務所に常駐者はいません